

#### 4-10. 成績評価

各科目ごとに、定期試験結果・授業中に行われる小テスト結果・授業参加態度・出席状況・提出課題などで総合的に評価します。評価は原則、「A（優）、B（良）、C（可）、F（不可）」の4段階とします。また、科目によっては、「認」（認定）と評価されることもあります。例えば、公欠を含んだ欠席数が開講数の半分以上になった科目は、単位評価できる場合でも「認」（認定）となります。

必要出席率（80％）を満たしているにもかかわらず、試験や提出課題等の総合評価が著しく低いために評価「F」（不可）になった場合、再試験等を受けて合格すると「認」（認定）と評価されることもあります。

#### 4-11. 再試験

必要出席率（80％）を満たしているにもかかわらず、試験や提出課題等の総合評価が著しく低いために評価「F」（不可）になる場合、科目によっては講師から再試験や課題などの再チャンスが与えられることがあります。その場合、いったん評価はP（ペンディング）として確定しません。

再試験該当者は定期試験終了後、発表します。再試験の受験希望者は「再試験願」を、再試験料（1科目2,000円）とともに指定された期日までに提出してください。

1. 再試験（課題提出等を含む）合格の場合、P（ペンディング）は、「認」（認定）と評価確定します。
2. 再試験（課題提出等を含む）不合格の場合、P（ペンディング）は、「F」（不可）と評価確定します。

#### 4-12. 単位認定

以下の全条件を満たしている者に、各科目の所定単位数を認定します。

- (1) 必要出席率（80％）を満たしていること。
- (2) 授業参加態度が良好であること。
- (3) 課題が提出され、小テストや定期試験の結果が基準点に達しており、成績評価が「A（優）、B（良）、C（可）」であること。科目によっては、「認」（認定）であること。

#### 4-13. 進級・卒業条件

以下の全条件を満たしていること。

- (1) 各年次において、進級・卒業必要単位数以上を取得していること。（詳細は、講義要項「開講科目と単位数」を参照）
- (2) 進級・卒業認定会議で承認されること。
- (3) 在籍年次終了時に次表①または②の試験いずれか1つに合格もしくは指定点数以上を得点していること。（該当年次に取得したものに限り）

1. 英米語学科・エアライン学科・国際教養学科（大学編入専攻）

	《 1年次終了時 》	《 卒業年次終了時 》
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 次のいずれか</li> <li>・TOEIC 380 点以上 (TOEIC IP も可)</li> <li>・実用英語検定準 2 級以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 次のいずれか</li> <li>・TOEIC 420 点以上 (TOEIC IP も可)</li> <li>・実用英語検定 2 級以上</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 次のいずれか</li> <li>・秘書技能検定 2 級以上</li> <li>・日本語ワープロ検定 3 級以上</li> <li>・EXCEL 検定 3 級以上</li> <li>・貿易実務検定 C 級以上</li> <li>・サービス接遇検定 2 級または準 1 級 (ロールレイング合格含) 以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 次のいずれか。ただし、1年次終了時、進級条件で申請した検定を除く。</li> <li>・秘書技能検定 2 級以上</li> <li>・日本語ワープロ検定準 2 級以上</li> <li>・EXCEL 検定 2 級以上</li> <li>・貿易実務検定 C 級以上</li> <li>・サービス接遇検定準 1 級以上</li> </ul>

但し、上記条件を達成できない者に対しては、年度末に進級・卒業資格試験(試験料 5,000 円)。1年次終了時：実用英語検定準 2 級模擬試験、卒業年次終了時：実用英語検定 2 級模擬試験をベースにした試験)を実施し、この試験の合格者には進級・卒業資格を与えるものとします。

2. ホテル・トラベル学科・国際教養学科（日本語コミュニケーション専攻）

	《 1年次終了時 》	《 卒業年次終了時 》
① 共通 (いずれか 1 つ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス接遇検定 2 級または準 1 級 (ロールレイング合格含) 以上</li> <li>・秘書技能検定 2 級以上</li> <li>・日本語ワープロ検定 3 級以上</li> <li>・EXCEL 検定 3 級以上</li> <li>・TOEIC 380 点以上 (TOEIC IP も可)</li> <li>・実用英語検定準 2 級以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス接遇検定準 1 級以上</li> <li>・日本語ワープロ検定準 2 級以上</li> <li>・秘書技能検定 2 級以上</li> <li>・EXCEL 検定 2 級以上</li> <li>・TOEIC 420 点以上 (TOEIC IP も可)</li> <li>・実用英語検定 2 級以上</li> </ul>
② ホテル・トラベル学科 国際ホテル専攻	ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル 2 級	レストランサービス技能検定 3 級 (但しホテルブライダル専攻は ABC 検定可)
② ホテル・トラベル学科 国際トラベル専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内旅行業務取扱管理者 (科目別合格含む)</li> <li>・国内旅行業務旅程管理者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合旅行業務取扱管理者 (科目別合格含む)</li> <li>・総合旅行業務旅程管理者 (学科合格含む)</li> </ul>
② 国際教養学科 日本語コミュニケーション 専攻	日本留学試験 (日本語) 280 点以上	日本留学試験 (日本語) 330 点以上

但し、上記条件を達成できない者に対しては、年度末に上記②の検定試験をベースにした進級・卒業資格試験(試験料 5,000 円)を実施し、この試験の合格者には進級・卒業資格を与えるものとします。

#### 4-14. 留年(進級条件・卒業条件を満たしていない場合)

1. 各年次の留年を希望する場合は、チューター(担任)、教務主任などと面談し、学校の承認を得たあと、指定した期日までに留年の手続きを行ってください。なお、学費・学生便覧の規定などは全て翌年度の新規定を適応します。
2. 留年は各学年1回限り許可します。

#### 4-15. 休学・復学・中途退学

1. 休学
  - (1) 病気、その他の理由により休学する場合は、診断書あるいは理由を記載した所定の「休学届」を提出し、学校長の承認を得てください。
  - (2) 休学期間は原則として半年とし、最大でも1年以内とします。
  - (3) 休学が認められた場合、別途定める休学料の支払いが必要とします。
  - (4) 留学生の場合は在留資格の関係上、休学できない場合があります。別途相談してください。
2. 復学  
前項の者が復学しようとする場合は、復学願を提出し、許可を得たうえで復学することができます。ただし、学費・学生便覧の規定などは全て復学年度のものを適応します。
3. 退学  
退学しようとする者は、退学願を提出し、学校長の承認を得てください。ただし、学費は当該年度分を完納してください。

#### 4-16. 褒賞・懲戒・出校停止・退学命令

1. 褒賞  
学業成績、学習態度において他の学生の模範となる者に対して、各年次の最終評価の時点で表彰者を選考し、表彰します。
  - (1) 成績優秀賞  
学業成績において優秀な成果を修めた者に対して授与します。
  - (2) 皆勤賞  
前期あるいは後期の全授業に皆勤した者に対し、学期ごとに授与します。1回でも遅刻した場合は皆勤にはなりません。
  - (3) その他  
在学中に芳しい結果を残したり、学校行事やイベントなど著しい働きがあったりした者で、特に表彰すべきと判断した場合は、卒業年次の最終評価の時点で表彰します。
2. 懲戒・出校停止・退学命令  
正当な理由がなく欠席が目立つ者、学習意欲が著しく欠如し、品行においても本校学生にふさわしくない態度・行動が認められる場合、警告または懲戒を行います。また、それらの改善の見込みがないと認められる場合、出校停止・退学を命令する場合があります。

#### 4-17. 海外研修

国際的視野を広げ実践的な語学力を伸ばすための海外語学研修の他、各学科の特性に合わせた海外研修(実施時の海外事情によっては国内研修に変わることもあります)等を、休暇などを利用し実施します。